



現状、輪紋病・炭そ病等の果実腐敗性病害の発生は少ない状況ですが、10月初旬までは、病害の感染期ですので、まだまだ油断はできません。よって、今回の定期散布も前回から15～20日を目安に進めてください。今回も予防散布を基本としていますので、秋雨が続く予報が出た場合は予定より前倒しで進める対策を講じましょう！

本年は、散布量不足が原因と見られる部分的な病害虫の発生も目立ちます。園全体に薬液がかかるように散布量は多めに設定しましょう。

【りんご】 9月下旬の散布

散布時期：	9月20日～30日（前回散布から15～20日後）	散布日：	月	日
散布薬剤：	水	100 ^{リットル}	散布量：	ℓ
	展着剤	10ml		
	ベフラン液剤25	66ml（前日、3回）		*注意事項①、②参照
	アルバリン顆粒水溶剤	50g（前日、3回）		*注意事項③参照
対象病害虫：	すす点・すす斑病、褐斑病、斑点落葉病、 シンクイムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、カメムシ類、コナカイガラムシ類			
散布量：	10アール当たり	600 ^{リットル}		

〔注意事項〕＊必ずお読みください。↓

- ① ふじ等の晩生種に輪紋病・炭そ病の発生が心配される園は、今回の定期散布にアリエティ C 水和剤 800 倍（14 日前、3 回）を加用する。ただし、収穫前規制に注意する。
- ② 炭そ病発生園は、ベフラン液剤に代えて、ストライド顆粒水和剤 1,500 倍でも良い。ただし、ストライド顆粒水溶剤は高温時に散布すると薬害を生じる恐れがあるので、できるだけ涼しい時間帯に散布する。
- ③ 代替え薬剤については、営農センター担当までお問い合わせください。（TEL23-3933）
- ④ 10月上旬に特別散布を実施する場合は、営農センター担当までお問い合わせください。

【晩生種の栽培管理について】＊良くお読みください。

シナノゴールド（収穫は10/15～25）

✚ 落果防止（適期に実施しましょう）

✧ 使用薬剤：ストッポール液剤 1000 倍（きゅうりなど野菜や他品目には絶対かけないこと）

✧ 散布時期：9月20日～10月5日頃に散布（展着剤は加用しない）

✚ 収穫予想

✧ 収穫の目安：果面全体が黄色くなり、酸味が極端に強くなく、甘みと酸味が程良く混じる食味。

✧ 平坦部のおい化：10月10日頃

✧ 平坦部の普通樹：10月20日頃

✧ 450m 以上のおい化：10月20日頃

✧ 450m 以上の普通樹：10月25～30日頃

収穫開始期は地域により10日以上差があります。出荷形態（即売向け、貯蔵向け）に合わせて仕分けしましょう

半無袋（ワックス袋）ふじの除袋について

✚ 時期：9月15日～20日頃までに（詳しくはお問い合わせください）

✚ 注意点

- A) 日中高温が続く場合は、上記の日程より遅らせること。また、できるだけ果実温の低い時間帯には実施しないこと。
- B) 土壌が極端に乾燥している場合は、果実温度が高くなり、日焼け果の発生が多くなり易いので、除袋前に定期的な灌水を実施し、園内の湿度をある程度保っておくこと。